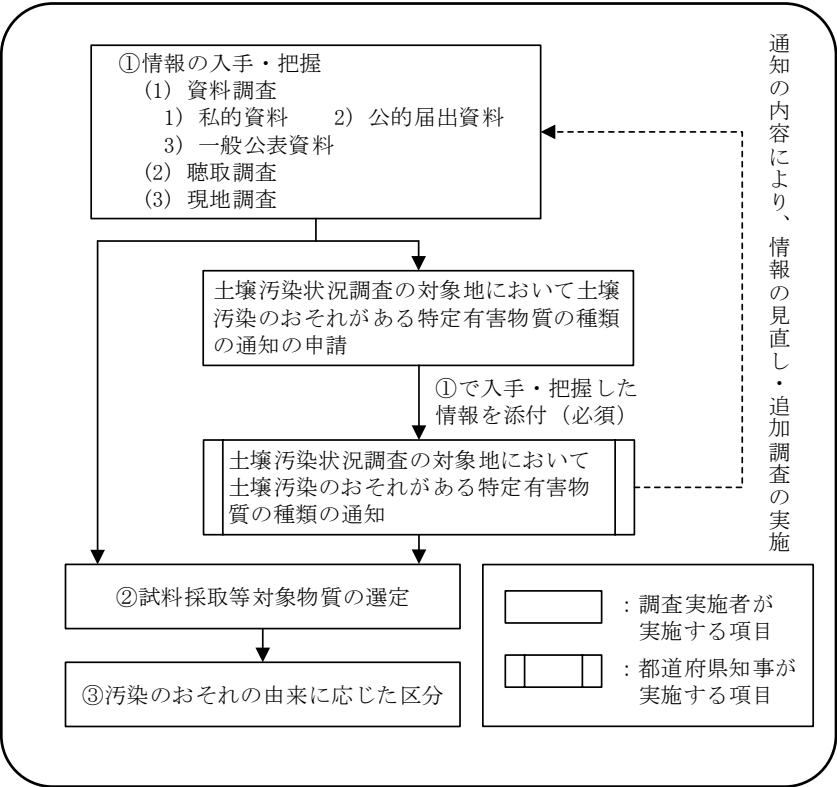


地歴調査チェックリストの位置づけ及び構成

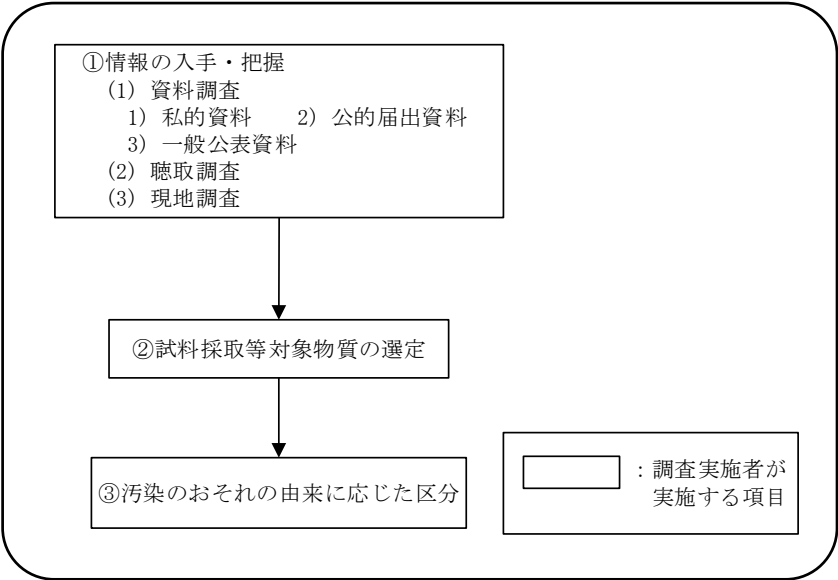
地歴調査チェックリストは、調査実施者が地歴調査においてなすべき調査の項目及びその手順を整理したものである。また、調査実施者が法第3条第1項本文調査及び第8項調査の土壤汚染状況調査における土壤溶出量基準又は土壤含有量基準に適合していないおそれがある特定有害物質の種類の通知の申請をする場合や、報告者が法第3条、法第4条及び法第5条に基づく土壤汚染状況調査の結果を報告する場合に、適切な地歴調査が行われたことを示すための資料である。

調査実施者は入手・把握した情報を基に地歴調査チェックリストを作成する（地歴調査チェックリストを完成できない場合は、不足する情報を入手・把握する）。

法第3条第1項本文調査及び第8項調査における地歴調査の流れを図－1に、法第4条調査及び法第5条調査における地歴調査の流れを図－2に示す。



図－１ 法第３条第１項本文調査及び第８項調査における地歴調査の流れ



図－２ 法第４条調査及び法第５条調査における地歴調査の流れ

表－１ 地歴調査において調査実施者が確認する情報の内容

入手・把握すべき情報の分類		情報の内容
1) 土壌汚染状況調査の対象地の範囲を確定するための情報		土壌汚染状況調査の対象地の土地の境界及び試料採取等における区画の設定の起点を明瞭に定義し得る情報
2) 土地の用途及び地表の高さの変更、地質に関する情報	① 土地の用途に関する情報	- 土壌汚染状況調査の対象地の土地利用状況及びその変遷 - 建物・設備等の配置及びその変遷
	② 地表の高さの変更、地質に関する情報	- 埋立てや盛土等の土地改変によって地表の位置が変更された履歴の有無 - 地表の位置の変更を行った時期 - 地表の位置の変更を行った範囲及び高さ - 盛土、埋戻し等に搬入土壌を使用した履歴の有無 - 搬入土壌を使用した範囲及び深さあるいは高さ - 土壌汚染状況調査の対象地における地質の構成及び地下水位
3) 人為等由来の土壌汚染のおそれに関する情報	① 土壌の特定有害物質による汚染状態に関する情報	- 過去の土壌又は地下水の汚染状況に関する調査結果 - 調査の実施時期、調査目的（例 法、条例、自主調査）、試料採取等対象物質及び選定理由、調査地点、調査深度、調査の過程の全部または一部の省略の有無、土壌又は地下水中の特定有害物質の濃度、想定される汚染原因等 - 盛土・埋土の材料とした搬入土壌の分析結果 - 基準不適合土壌の搬出と移動の履歴 - 過去の土壌汚染の除去等の対策 - 対策の実施時期、対策の内容（対策完了の基準、対策の対象とした土壌の範囲と深さ、対策方法 等）、対策完了後における土壌の特定有害物質の濃度 - 過去の区域指定等の状況 - 指定台帳及び解除台帳
	② 特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の埋設等（埋設・飛散・流出・地下浸透）に関する情報	- 特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の埋設等の有無 - 埋設等をした特定有害物質の種類、埋設物の状態、場所、範囲、深さ、量及び時期等 - 飛散の記録 - 流出・浸透事故の記録 - 埋設等をした特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の移動に関する記録 - 災害（地震、洪水、高潮、火災、地すべり等）により飛散等した履歴等
	③ 特定有害物質の使用等（製造・使用・処理）に関する情報	- 特定有害物質の使用等の有無 - 使用等していた特定有害物質の種類及び特定有害物質の形態、使用等していた場所、量及び時期等 - 特定有害物質を使用等していた施設の情報（構造、地下構造物の深さ、施設に係る配管経路、処理方法等） - 有害物質使用特定施設における地下浸透防止措置の状況（構造、点検記録）及び漏洩の有無 - 特定有害物質を使用等していた施設や場所への運搬方法、運搬経路及び搬出経路
	④ 特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の貯蔵等（貯蔵・保管）に関する情報	- 特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の貯蔵等の有無 - 貯蔵等の記録（特定有害物質の種類、貯蔵形態、貯蔵等を行っていた場所、量及び時期等） - 貯蔵等をしていた施設の情報（構造、地下構造物の深さ、施設に係る配管経路等） - 有害物質貯蔵指定施設における地下浸透防止措置の有無及びその状況（構造、点検記録）及び漏洩の有無 - 貯蔵等していた施設や場所への運搬方法、運搬経路及び搬出経路
	⑤ その他の情報	上記の①～④に該当しない土壌汚染状況調査の対象地における土壌の特定有害物質による汚染のおそれに関する情報

地歴調査チェックリスト

4)自然由来の土壤汚染のおそれに関する情報	(自然由来の汚染のおそれがある地層の情報) ・土壤汚染状況調査の対象地における自然由来の汚染のおそれがある地層の分布状況 ・過去に実施された自然由来の汚染のおそれがある地層の土壤の分析結果 ・周辺における自然由来特例区域の指定状況及び自然由来の基準不適合が認められた区域の情報 (自然由来盛土等の情報) ・盛土等に用いられた土壤の掘削場所や盛土の工事に関する情報 ・盛土等に用いられた土壤の掘削場所における土壤の汚染状態に関する情報 ・過去に実施された自然由来の汚染のおそれがある地層の土壤の分析結果
5)水面埋立てに用いられた土砂由来の土壤汚染のおそれに関する情報	・公有水面埋立法による埋立て又は干拓による造成履歴とその時期の情報 ・過去に実施された水面埋立て土砂の分析結果（搬入前に行われた当該土砂の分析結果も含む）^{*1} ・周辺における埋立地特例区域の指定状況及び水面埋立て土砂由来の基準不適合が認められた区域の情報^{*1} ・廃棄物の埋め立ての有無^{*1} ・工業専用地域への該当の有無の情報^{*1}

* 1 土壤汚染状況調査の対象地が公有水面埋立地に位置する場合のみ

表－２ 地歴調査チェックリストの構成

図－１、図－２の項目に該当する様式一覧			規則第３条第３項の通知における添付	法第３条第１項本文又は法第３条第８項の土壤汚染状況調査結果の報告における添付	法第４条又は法第５条の土壤汚染状況調査結果の報告における添付
表紙			要	要	要
地歴調査チェックリストの内訳			要	要	要
①	様式Ａ 情報の入手・把握	様式Ａ－１ 資料調査	要	要	要
		様式Ａ－１別紙 入手資料リスト			
		様式Ａ－２ 聴取調査			
		様式Ａ－３ 現地調査			
		様式Ａ－４ 過去に行われた調査の結果が得られた場合のチェック項目			
		様式Ａ－５ 土壤汚染状況調査の対象地において人為等由来の土壤汚染のおそれがある特定有害物質の種類			
		様式Ａ－６ 土壤汚染状況調査の対象地において自然由来又は水面埋立て土砂由来の土壤汚染のおそれがある特定有害物質の種類			
		様式Ａ－７ 土壤汚染状況調査の対象地が公有水面埋立地に立地する場合のチェック項目			
②	様式Ｂ	試料採取等対象物質の選定	不要	要	要
③	様式Ｃ	人為等由来の土壤汚染のおそれがある土地における土壤汚染のおそれの区分の分類	不要	要	要

- 様式Ａ－１、様式Ａ－２及び様式Ａ－５は立地履歴が認められた工場又は事業場ごとに作成する。
- 様式Ａ－３は、複数の施設が立地する場合においては、本様式を施設ごとに作成する。
- 必要に応じて、様式Ａ－２には記録簿等の資料、様式Ａ－３には写真集等の資料を添付する。
- 様式Ａ－４は、土壤汚染状況調査の対象地において過去に行われた調査において土壤溶出量基準不適合又は土壤含有量基準不適合が認められている場合に作成する。
- 様式Ａ－７は土壤汚染状況調査の対象地が公有水面埋立地である場合に作成する。
- 様式Ｃは試料採取等対象物質ごとに作成する。なお、立地履歴が認められた工場又は事業場ごとに作成することもできる。

地歴調査チェックリスト <通知の申請用>
 土壌汚染対策法第3条第1項本文調査

報告日 年 月 日

工場又は事業場*1の名称	
工場又は事業場*1の敷地で あった土地の所在地	

*1 使用が廃止された有害物質使用特定施設に係る工場又は事業場（法第3条第1項）

【調査実施者】

指定調査機関の氏名又は名称：

技術管理者の氏名：

技術管理者証の交付番号：

地歴調査結果の概要

汚染のおそれの種類		試料採取等対象物質の種類	理由 * 2	備考	
人為等由来の土壌汚染のおそれ	<工場又は事業場の名称>				
		<操業期間>			
	<工場又は事業場の名称>				
		<操業期間>			
自然由来の土壌汚染のおそれ					
水面埋立て土砂由来の土壌汚染のおそれ					
	<造成の着手日>				
	☐ 昭和 52 年 3 月 15 日以降				
☐ 昭和 52 年 3 月 14 日以前					

*2 理由の欄の記入方法は“「理由」の欄の記入要領”（11ページ）による。

地歴調査チェックリスト <通知の申請用>
 土壤汚染対策法第3条第8項調査

報告日 年 月 日

調査の対象となる 土地の所在地	
--------------------	--

【調査実施者】

指定調査機関の氏名又は名称：

技術管理者の氏名：

技術管理者証の交付番号：

地歴調査結果の概要

汚染のおそれの種類		試料採取等対象物質の種類	理由*1	備考	
人為等由来の土壤汚染のおそれ	<工場又は事業場の名称>				
		<操業期間>			
	<工場又は事業場の名称>				
		<操業期間>			
自然由来の土壤汚染のおそれ					
水面埋立て土砂由来の土壤汚染のおそれ <造成の着手日> □ 昭和52年3月15日以降 □ 昭和52年3月14日以前					

*1 理由の欄の記入方法は“「理由」の欄の記入要領”(11 ページ)による。

地歴調査チェックリスト < 土壌汚染状況調査結果報告用 >
土壌汚染対策法第 3 条第 1 項本文調査

報告日 年 月 日

工場又は事業場* ¹ の名称	
工場又は事業場* ¹ の敷地 であった土地の所在地	

* 1 使用が廃止された有害物質使用特定施設に係る工場又は事業場（法第 3 条第 1 項）

【調査実施者】

指定調査機関の氏名又は名称：

技術管理者の氏名：

技術管理者証の交付番号：

地歴調査結果の概要

汚染のおそれの種類		試料採取等対象物質 の種類	理由*2	備考	
人為等 由来の土壌汚染のおそれ	< 工場又は事業場の名称 >				
		< 操業期間 >			
	< 工場又は事業場の名称 >				
		< 操業期間 >			
自然由来の土壌汚染のおそれ					
水面埋立て土砂由来の土壌汚染のおそれ					
	< 造成の着手日 >				
	☐ 昭和 52 年 3 月 15 日以降				
☐ 昭和 52 年 3 月 14 日以前					

* 2 理由の欄の記入方法は“「理由」の欄の記入要領”（11 ページ）による。

地歴調査チェックリスト < 土壌汚染状況調査結果報告用 >
土壌汚染対策法第 3 条第 8 項調査

報告日 年 月 日

調査の対象となる 土地の所在地	
--------------------	--

【調査実施者】

指定調査機関の氏名又は名称：

技術管理者の氏名：

技術管理者証の交付番号：

地歴調査結果の概要

汚染のおそれの種類		試料採取等対象物質 の種類	理由*1	備考	
人為等由来の土壌汚染のおそれ	< 工場又は事業場の名称 >				
		< 操業期間 >			
	< 工場又は事業場の名称 >				
		< 操業期間 >			
自然由来の土壌汚染のおそれ					
水面埋立て土砂由来の土壌汚染のおそれ < 造成の着手日 > □ 昭和 52 年 3 月 15 日以降 □ 昭和 52 年 3 月 14 日以前					

*1 理由の欄の記入方法は「理由」の欄の記入要領（11 ページ）による。

地歴調査チェックリスト < 土壌汚染状況調査結果報告用 >

土壌汚染対策法（第4条・第5条）調査

※第4条、第5条のいずれかを○で選択すること

報告日 年 月 日

調査の対象となる 土地の所在地	
--------------------	--

【調査実施者】

指定調査機関の氏名又は名称：

技術管理者の氏名：

技術管理者証の交付番号：

地歴調査結果の概要

汚染のおそれの種類		試料採取等対象物質の種類	理由*1	備考	
人為等由来の土壌汚染のおそれ	<工場又は事業場の名称>				
		<操業期間>			
	<工場又は事業場の名称>				
		<操業期間>			
自然由来の土壌汚染のおそれ					
水面埋立て土砂由来の土壌汚染のおそれ <造成の着手日> ☐ 昭和 52 年 3 月 15 日以降 ☐ 昭和 52 年 3 月 14 日以前					

* 1 理由の欄の記入方法は“「理由」の欄の記入要領”（11 ページ）による。

「理由」の欄の記入要領

地歴調査結果の概要、表A-5、表A-6、表B-1、表B-2及び表B-3の「理由」の欄には、以下の①～⑥（複数の土壤汚染のおそれの由来が確認された場合はそれぞれについて）を記入する。なお、第一種特定有害物質について①～④、⑥の土壤汚染のおそれがある場合、分解生成物についても「分解生成物（②-1）」のように記入する。

例：トリクロロエチレンの貯蔵・保管が認められた場合、分解生成物であるクロロエチレン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレンについて「分解生成物（④）」と記入

<人為等由来の土壤汚染のおそれに関する理由>

①：土壤汚染状況調査の対象地において土壤溶出量基準又は土壤含有量基準に適合しないことが明らかであり、その理由が

- ①-1：特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の埋設等、特定有害物質の使用等、特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の貯蔵等の履歴が認められた
- ①-2：上記以外であり自然由来（自然地層及び盛土）及び水面埋立て土砂由来の汚染と考えられないもの（原因が不明なもの）

②：固体若しくは液体として、土壤汚染状況調査の対象地に

- ②-1：埋設された履歴が認められた
- ②-2：飛散した履歴が認められた
- ②-3：流出した履歴が認められた
- ②-4：地下浸透した履歴が認められた

※上記の②-1～②-4に関して、「埋設」、「飛散」、「流出」又は「地下浸透」を明確に区分できない場合については「②」とする。

③：土壤汚染状況調査の対象地の施設において

- ③-1：製造履歴がある
- ③-2：使用履歴がある
- ③-3：処理履歴がある

※上記の③-1～③-3に関して、「製造」、「使用」又は「処理」を明確に区分できない場合については「③」とする。

④：固体若しくは液体を施設において貯蔵・保管されていた（ただし、環境大臣が定める特定有害物質を含む液体の地下への浸透の防止のための措置が講じられている施設において貯蔵・保管されていたものを除く。）

<自然由来の土壤汚染のおそれに関する理由>

⑤：土壤汚染状況調査の対象地において自然由来の土壤汚染のおそれがあると認められた場合で、その理由が

- ⑤-1：土壤汚染状況調査の対象地において過去に行われた調査の結果、自然由来の汚染による基準不適合が深さ10mまでの自然地層において認められた
- ⑤-2：自然由来の汚染により基準不適合が認められた自然地層が土壤汚染状況調査の対象地が周辺にあり、当該自然地層が土壤汚染状況調査の対象地の深さ10mまでに分布すると推定された
- ⑤-3：⑤-1又は⑤-2に該当する場合であって、土壤汚染状況調査の対象地の盛土に用いられた盛土材料の掘削場所又は採取された地層において自然由来の汚染による基準不適合が認められ、かつ、盛土材料の掘削場所から土壤

汚染状況調査の対象地までの距離が 900m未満であった

- ⑤－４：⑤－１に該当する場合であって、土壤汚染状況調査の対象地の盛土に用いられた盛土材料の掘削場所又は採取された地層において自然由来の汚染による基準不適合が認められ、かつ、規則第 10 条の 2 第 2 項第 2 号ロの自然由来盛土等における汚染状態に関する要件に適合していた

<水面埋立て土砂由来の土壤汚染のおそれに関する理由>

- ⑥：土壤汚染状況調査の対象地において水面埋立て土砂由来の土壤汚染のおそれがあると認められた場合で、その理由が

- ⑥－１：土壤汚染状況調査の対象地において過去に行われた調査の結果、造成時に用いられた埋立て土砂について基準不適合が認められた
- ⑥－２：土壤汚染状況調査の対象地の周辺にある、土壤汚染状況調査の対象地と同一の埋立事業又は計画に基づき造成された土地において、水面埋立て土砂由来の汚染による基準不適合が認められた

提出する地歴調査チェックリストの内訳

規則第3条第3項の通知の申請又は土壤汚染状況調査結果の報告（法第3条第1項本文調査、法第3条第8項調査、法第4条調査、法第5条調査に基づくもの）の際に、様式A～Cの前に本内訳を添付して地歴調査チェックリストとして提出すること。

図－1、図－2の項目に該当する様式一覧			規則第3条第3項の通知の申請における添付	法第3条第1項本文又は法第3条第8項の土壤汚染状況調査結果の報告における添付	法第4条又は法第5条の土壤汚染状況調査結果の報告における添付
①	様式A 情報の入手・把握	様式A－1 資料調査			
		様式A－1別紙 入手資料リスト			
		様式A－2 聴取調査			
		様式A－3 現地調査			
		様式A－4 過去に行われた調査の結果が得られた場合のチェック項目			
		様式A－5 土壤汚染状況調査の対象地において人為等由来の土壤汚染のおそれがある特定有害物質の種類			－
		様式A－6 土壤汚染状況調査の対象地において自然由来又は水面埋立て土砂由来の土壤汚染のおそれがある特定有害物質の種類			－
		様式A－7 土壤汚染状況調査の対象地が公有水面埋立地に立地する場合のチェック項目			
②	様式B	試料採取等対象物質の選定			－
③	様式C	人為等由来の土壤汚染のおそれがある土地における土壤汚染のおそれの区分の分類	該当なし		

※ 提出の欄は、提出する様式に「○」を、提出しない様式に「×」を記入する。

- 様式A－1、様式A－2、及び様式A－5は立地履歴が認められた工場又は事業場ごとに作成する。
- 様式A－3は、複数の施設が立地する場合においては、本様式を個々の施設ごとに作成する。
- 必要に応じて、様式A－2には記録簿等の資料、様式A－3には写真集等の資料を添付する。
- 様式A－4は、土壤汚染状況調査の対象地において過去に行われた調査において土壤溶出量基準不適合又は土壤含有量基準不適合が認められている場合に作成する。
- 様式A－7は土壤汚染状況調査の対象地が公有水面埋立地である場合に作成する。
- 様式Cは試料採取等対象物質ごとに作成する。なお、立地履歴が認められた工場又は事業場ごとに作成することもできる。

【様式A-1】資料調査

※様式A-1は、立地履歴が認められた工場又は事業場ごとに作成すること

ただし、立地履歴が認められた工場又は事業場に起因する土壤汚染以外の土壤汚染のおそれについて資料調査を実施した場合は、立地履歴が認められた工場又は事業場とは別に本様式を作成すること

※入手した資料のリスト（様式A-1別紙）を作成すること

【法第3条第1項本文調査又は法第3条第8項調査の場合】

工場又は事業場の名称	
操業期間	

※複数存在する場合は、複数記入すること

※土壤汚染のおそれの区分の分類を示した図面を添付するか、図面が土壤汚染状況調査の結果の報告書に含まれる場合は、その旨を記載すること

【法第4条調査又は法第5条調査の場合】

調査の対象となる土地の所在地	
----------------	--

※複数存在する場合は、複数記入すること

※土壤汚染状況調査の対象地に工場又は事業場の立地履歴がない場合には、「一」と記入すること

(1) 私的資料に関する資料調査

1) 土壤汚染状況調査の対象地の範囲を確定するための私的資料

土壤汚染状況調査の対象地の範囲を確定するための私的資料の収集

- ・土壤汚染状況調査の対象地の範囲を確定するための私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

2) 土地の用途及び地表の高さの変更、地質に関する私的資料

①土地の用途に関する私的資料の収集

- ・土地の用途に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

②地表の高さの変更、地質に関する私的資料の収集

- ・地表の高さの変更に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

3) 人為等由来の土壤汚染のおそれに関する私的資料

①土壤の特定有害物質による汚染状態に関する資料の収集

- ・過去に行われた工場又は地下水の汚染状況についての調査結果に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

*1 設問の資料を入手できなかった場合等については、資料の対象とする施設がない、土地の所有者等が該当する資料を所有していないなど、その理由を記載する。

- ・盛土・埋土の材料とした搬入土壌についての調査結果に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

- ・基準不適合土壌の搬出と移動に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

- ・過去に行われた土壌汚染の除去等の対策に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

- ・過去の要措置区域等の指定の状況に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

②特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の埋設等（埋設・飛散・流出・地下浸透）に関する私的資料の収集

- ・特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の埋設等の状況（特定有害物質の種類、埋設物の状態、場所、範囲、深さ、量及び時期等）に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

- ・災害（地震・洪水・高潮・火災・地すべり等）により飛散・流出・地下浸透した履歴に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

- ・災害以外の事由により飛散・流出・地下浸透した履歴に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

- ・行政からの指導、周辺からの苦情に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

③特定有害物質の使用等（製造・使用・処理）に関する私的資料の収集

- ・特定有害物質の使用等の状況（特定有害物質の種類及び特定有害物質の形態、使用等していた場所、量及び時期等）に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

- ・特定有害物質を使用等している又はしていた施設・配管の構造、深さに関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

- ・有害物質使用特定施設における地下浸透防止措置の実施・点検状況（流出・地下浸透事故の有無）に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹： _____

- ・特定有害物質の使用等に伴う搬入・運搬・搬出経路に関する私的資料を入手、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹： _____

④特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の貯蔵等（貯蔵・保管）に関する私的資料の収集

- ・特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の貯蔵等の状況（特定有害物質の種類、貯蔵形態、貯蔵等を行っていた場所、量及び時期等）に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹： _____

- ・特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体を貯蔵等している又はしていた施設の構造、深さに関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹： _____

- ・有害物質貯蔵指定施設における地下浸透防止措置の実施・点検状況（流出・地下浸透事故の有無）に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹： _____

- ・特定有害物質の貯蔵等に伴う搬入・運搬・搬出経路に関する私的資料を入手、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹： _____

⑤その他の私的資料の収集

- ・土壤汚染状況調査の対象地における上記①～④に該当しない人為等由来の土壤汚染のおそれに関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹： _____

4) 自然由来の土壤汚染のおそれに関する私的資料

- ・過去に行われた地層又は盛土等における自然由来の土壤又は地下水の汚染状況についての調査結果に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹： _____

- ・過去の要措置区域等の指定の状況に関する私的資料を入手し、自然由来の基準不適合（自然由来盛土等によるものも含む。）が認められた区域に関する内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹： _____

(自然由来の土壤汚染のおそれのある地層の存在が確認された場合)

- ・土壤汚染状況調査の対象地における自然由来の土壤汚染のおそれのある地層の分布状況に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*1}： _____

(自然由来の土壤汚染のおそれのある盛土の存在が確認された場合)

- ・盛土等に用いられた土壤の掘削場所及び当該掘削場所の土壤の汚染状況についての調査結果に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*1}： _____

- ・土壤汚染状況調査の対象地における自然由来の土壤汚染のおそれのある盛土の分布状況に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*1}： _____

5) 水面埋立てに用いられた土砂由来の土壤汚染のおそれに関する私的資料

- ・公有水面埋立法による公有水面の埋立て又は干拓の事業による造成に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*1}： _____

(公有水面埋立地に該当する場合)

- ・土壤汚染状況調査の対象地における水面埋立て土砂の範囲及び深さに関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*1}： _____

- ・過去に行われた水面埋立て土砂の汚染状況についての調査結果に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*1}： _____

(水面埋立て土砂由来の土壤汚染のおそれが確認された場合)

- ・公有水面埋立ての造成を開始した日に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*1}： _____

- ・廃棄物の埋立ての有無及び状況に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*1}： _____

- ・工業専用地域に関する私的資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*1}： _____

(2) 公的届出資料*²に関する資料調査

1) 土壤汚染状況調査の対象地の範囲を確定するための公的届出資料

土壤汚染状況調査の対象地の範囲を確定するための公的届出資料の収集

- ・土壤汚染状況調査の対象地の範囲を確定するための公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹: _____

2) 土地の用途及び地表の高さの変更、地質に関する公的届出資料

①土地の用途に関する公的届出資料の収集

- ・土地の用途に関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹: _____

②地表の高さの変更、地質に関する公的届出資料の収集

- ・地表の高さの変更に関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹: _____

- ・土壤汚染状況調査の対象地の公有水面埋立地への該当性に関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹: _____

3) 人為等由来の土壤汚染のおそれに関する公的届出資料

①土壤の特定有害物質による汚染状態に関する資料の収集

- ・過去に行われた土壤又は地下水の汚染状況についての調査結果に関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた*²

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹: _____

- ・過去に行われた土壤汚染の除去等の対策に関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹: _____

- ・公的届出資料である過去の要措置区域等の指定台帳及び解除台帳並びにこれらの台帳の添付書類を入手し、人為等由来汚染調査及び汚染の除去等の措置に関する内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹: _____

* 2 原則として土地の所有者等が所有する公的届出資料について調査するものであるが、調査実施者が何らかの理由により地方公共団体から公的届出資料を入手している場合には、調査の対象に含める。

②特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の埋設等（埋設・飛散・流出・地下浸透）に関する公的届出資料の収集

- ・特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の埋設等の状況（特定有害物質の種類、埋設物の状態、場所、範囲、深さ、量及び時期等）に関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

- ・災害（地震・洪水・高潮・火災・地すべり等）により飛散・流出・地下浸透した履歴に関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

- ・災害以外の事由により飛散・流出・地下浸透した履歴に関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

③特定有害物質の使用等（製造・使用・処理）に関する公的届出資料の収集

- ・特定有害物質の使用等の状況（特定有害物質の種類及び特定有害物質の形態、使用等していた場所、量及び時期等）に関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

- ・特定有害物質を使用等している又はしていた施設・配管の構造、深さに関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

- ・有害物質使用特定施設における地下浸透防止措置の実施・点検状況（流出・地下浸透事故の有無）に関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

- ・特定有害物質の使用等に伴う搬入・運搬・搬出経路に関する公的届出資料を入手、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

④特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の貯蔵等（貯蔵・保管）に関する公的届出資料の収集

- ・特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体を貯蔵等している又はしていた施設の構造、深さに関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

- ・有害物質貯蔵指定施設における地下浸透防止措置の実施・点検状況（流出・地下浸透事故の有無）に関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

- ・特定有害物質の貯蔵等に伴う搬入・運搬・搬出経路に関する公的届出資料を入手、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹ : _____

⑤その他の人為等由来の土壤汚染のおそれに関する公的届出資料の収集

- ・土壤汚染状況調査の対象地における上記①～④に該当しない人為等由来の土壤汚染のおそれに関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹ : _____

(自然由来の基準不適合に関する情報が得られた場合のみ)

4) 自然由来の土壤汚染のおそれに関する公的届出資料

- ①過去に行われた地層又は盛土等における自然由来の土壤又は地下水の汚染状況についての調査結果に関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹ : _____

⇒「はい」の場合、以下の項目をチェックすること

(自然由来の土壤汚染のおそれのある地層の存在が確認された場合)

- ・土壤汚染状況調査の対象地における自然由来の土壤汚染のおそれのある地層の分布状況に関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹ : _____

(自然由来の土壤汚染のおそれのある盛土の存在が確認された場合)

- ・盛土等に用いられた土壤の掘削場所及び当該掘削場所の土壤の汚染状況についての調査結果に関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹ : _____

- ・土壤汚染状況調査の対象地における自然由来の土壤汚染のおそれのある盛土の分布状況に関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹ : _____

- ②過去の要措置区域等の指定の状況に関する公的届出資料を入手し、自然由来の基準不適合（自然由来盛土等によるものも含む）が認められた区域に関する内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹ : _____

⇒「はい」の場合、以下の項目をチェックすること

(自然由来の土壤汚染のおそれのある地層の存在が確認された場合)

- ・土壤汚染状況調査の対象地における自然由来の土壤汚染のおそれのある地層の分布状況に関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹ : _____

(自然由来の土壤汚染のおそれのある盛土の存在が確認された場合)

- ・盛土等に用いられた土壤の掘削場所及び当該掘削場所の土壤の汚染状況についての調査結果に関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*1}： _____

- ・土壤汚染状況調査の対象地における自然由来の土壤汚染のおそれのある盛土の分布状況に関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*1}： _____

5) 水面埋立てに用いられた土砂由来の土壤汚染のおそれに関する公的届出資料

- ・公有水面埋立法による公有水面の埋立て又は干拓の事業による造成に関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*1}： _____

(公有水面埋立地に該当する場合)

- ・土壤汚染状況調査の対象地における水面埋立て土砂の範囲及び深さに関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*1}： _____

- ・過去に行われた水面埋立て土砂の汚染状況についての調査結果に関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*1}： _____

(水面埋立て土砂由来の土壤汚染のおそれが確認された場合)

- ・公有水面埋立ての造成を開始した日に関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*1}： _____

- ・廃棄物の埋立ての有無及び状況に関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*1}： _____

- ・工業専用地域に関する公的届出資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*1}： _____

(3) 一般公表資料に関する資料調査

1) 土壤汚染状況調査の対象地の範囲を確定するための一般公表資料

① 土壤汚染状況調査の対象地の範囲を確定するための一般公表資料の収集

- ・ 土壤汚染状況調査の対象地の範囲を確定するための一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*1} : _____

2) 土地の用途及び地表の高さの変更、地質に関する一般公表資料の収集

① 土地の用途に関する一般公表資料の収集

- ・ 土地の用途に関する一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*1} : _____

② 地表の高さの変更、地質に関する一般公表資料の収集

- ・ 地表の高さの変更に関する一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*1} : _____

3) 人為等由来の土壤汚染のおそれに関する一般公表資料

- ・ 過去に行われた土壌又は地下水の汚染状況についての調査結果に関する一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*3} : _____

- ・ 過去に行われた土壌汚染の除去等の対策に関する一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*3} : _____

- ・ 一般公表されている過去の要措置区域等の指定台帳及び解除台帳並びにこれらの台帳の添付書類を入手し、人為等由来汚染調査及び汚染の除去等の措置に関する内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*3} : _____

② 特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の埋設等（埋設・飛散・流出・地下浸透）に関する一般公表資料の収集

- ・ 特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の埋設等の状況（特定有害物質の種類及び特定有害物質の形態、使用等していた場所、量及び時期等）に関する一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ 該当資料は存在しない ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*3} : _____

- ・ 災害（地震・洪水・高潮・火災・地すべり等）により飛散・流出・地下浸透した履歴に関する一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*1} : _____

* 3 設問の資料を入手できなかった場合等に、該当資料が存在しないこと以外に入手できない理由があれば、その理由を記載する。

- ・災害以外の事由により飛散・流出・地下浸透した履歴に関する一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³： _____

③特定有害物質の使用等（製造・使用・処理）に関する一般公表資料の収集

- ・特定有害物質の使用等（特定有害物質の種類及び特定有害物質の形態、使用等していた場所、量及び時期等）に関する一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ 該当資料は存在しない ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³： _____

- ・特定有害物質を使用等している又はしていた施設・配管の構造、深さに関する一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ 該当資料は存在しない ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³： _____

- ・有害物質使用特定施設における地下浸透防止措置の実施・点検状況（流出・地下浸透事故の有無）に関する一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ 該当資料は存在しない ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³： _____

- ・特定有害物質の使用等に伴う搬入・運搬・搬出経路に関する一般公表資料を入手、内容を確認できた

☐ はい ☐ 該当資料は存在しない ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³： _____

④特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の貯蔵等に関する一般公表資料の収集

- ・特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体を貯蔵等している又はしていた施設の構造、深さに関する一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ 該当資料は存在しない ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³： _____

- ・有害物質貯蔵指定施設における地下浸透防止措置の実施・点検状況（流出・地下浸透事故の有無）に関する一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ 該当資料は存在しない ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³： _____

- ・特定有害物質の貯蔵等に伴う搬入・運搬・搬出経路に関する一般公表資料を入手、内容を確認できた

☐ はい ☐ 該当資料は存在しない ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³： _____

⑤その他の人為等由来の土壌汚染のおそれに関する一般公表資料の収集

- ・土壌汚染状況調査の対象地における上記①～④に該当しない人為等由来の土壌汚染のおそれに関する一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ 該当資料は存在しない ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³： _____

4) 自然由来の土壤汚染のおそれに関する一般公表資料

- ・過去に行われた地層又は盛土等における自然由来の土壤又は地下水の汚染状況についての調査結果に関する一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

- ・過去の要措置区域等の指定の状況に関する一般公表資料を入手し、自然由来の基準不適合（自然由来盛土等によるものも含む。）が認められた区域に関する内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

（自然由来の土壤汚染のおそれのある地層の存在が確認された場合）

- ・土壤汚染状況調査の対象地における自然由来の土壤汚染のおそれのある地層の分布状況に関する一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

（自然由来の土壤汚染のおそれのある盛土の存在が確認された場合）

- ・盛土等に用いられた土壤の掘削場所及び当該掘削場所の土壤の汚染状況についての調査結果に関する一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

- ・土壤汚染状況調査の対象地における自然由来の土壤汚染のおそれのある盛土の分布状況に関する一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

5) 水面埋立てに用いられた土砂由来の土壤汚染のおそれに関する私的資料

- ・公有水面埋立法による公有水面の埋立て又は干拓の事業による造成に関する一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

（公有水面埋立地に該当する場合）

- ・土壤汚染状況調査の対象地における水面埋立て土砂の範囲及び深さに関する一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

- ・過去に行われた水面埋立て土砂の汚染状況についての調査結果に関する一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

（水面埋立て土砂由来の土壤汚染のおそれが確認された場合）

- ・公有水面埋立ての造成を開始した日に関する一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1: _____

- ・廃棄物の埋立ての有無及び状況に関する一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*1}： _____

- ・工業専用地域に関する一般公表資料を入手し、内容を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*1}： _____

【様式A－1別紙】入手資料リスト

※本リストは、調査実施者が記入すること

①私的資料

添付資料 番号* ¹	私的資料の名称	資料提供者* ²

*¹ 資料を受領したものの、土壌汚染のおそれを推定するために有効な情報が得られなかった等、合理的な理由により添付資料としなかった資料には、添付資料番号に取消線を入れる。

*² 氏名、名称等を適宜記入する。

②公的届出資料

添付資料 番号* ¹	公的届出資料の名称

*¹ 資料を受領したものの、土壌汚染のおそれを推定するために有効な情報が得られなかった等、合理的な理由により添付資料としなかった資料には、添付資料番号に取消線を入れる。

様式A－1別紙 土地所有者等から受領した資料のリスト

③一般公表資料

添付資料 番号*1	一般公表資料の名称

*1 資料を受領したものの、土壌汚染のおそれを推定するために有効な情報が得られなかった等、合理的な理由により添付資料としなかった資料には、添付資料番号に取消線を入れる。

【様式A-2】聴取調査

※様式A-2は、立地履歴が認められた工場又は事業場ごとに作成すること

ただし、立地履歴が認められた工場又は事業場に起因する土壤汚染以外の土壤汚染のおそれについて聴取調査を実施した場合は、立地履歴が認められた工場又は事業場とは別に本様式を作成すること

※必要に応じて記録簿等の資料を添付すること

【法第3条第1項本文調査又は法第3条第8項調査の場合】

工場又は事業場の名称	
操業期間	

※複数存在する場合は、複数記入すること

※土壤汚染のおそれの区分の分類を示した図面を添付するか、図面が土壤汚染状況調査の結果の報告書に含まれる場合は、その旨を記載すること

【法第4条調査又は法第5条調査の場合】

調査の対象となる土地の所在地	
----------------	--

※複数存在する場合は、複数記入すること

※土壤汚染状況調査の対象地に工場又は事業場の立地履歴がない場合には、「一」と記入すること

(1) 聴取調査を実施した ☐ はい ☐ いいえ (以下の設問のチェック不要)

はいの場合

実施日時： _____ 実施場所： _____

聴取調査の実施者の氏名： _____

聴取調査の対象者の氏名^{*1}： _____

いいえの場合、実施しなかった理由^{*2}： _____

1) 土壤汚染状況調査の対象地を確定するための聴取り

・土壤汚染状況調査の対象地の範囲に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*3}： _____

2) 土地の用途及び地表の高さの変更、地質に関する情報の聴取り

①土地の用途に関する情報の聴取り

・土地の用途に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由^{*3}： _____

*1 過去の土地の所有者等、立地履歴が認められた工場又は事業場の従業員等、聴取調査の対象者たるべき立場を併記すること。

*2 立地履歴が認められた工場又は事業場が既に閉鎖されている等、聴取調査を実施することができなかった合理的な理由を記載する。

*3 設問の情報について把握できなかった場合にその理由を記載する。なお、聴取りを実施したが、設問の情報について対象者が把握していない場合等についてはその旨を記載する。

②地表の高さ、地質の変更に関する情報の聴取り

- ・地表の高さの変更に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

- ・盛土・搬入土に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

3) 人為等由来の土壤汚染のおそれに関する情報の聴取り

①土壌の特定有害物質による汚染状態に関する資料の収集

- ・過去に行われた土壌又は地下水の汚染状況についての調査結果に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

- ・盛土・埋土の材料とした搬入土壌についての調査結果に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

- ・基準不適合土壌の搬出と移動に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

- ・過去に行われた土壌汚染の除去等の対策に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

- ・過去の要措置区域等の指定の状況に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

②特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の埋設等（埋設・飛散・流出・地下浸透）や特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の埋設等の状況（特定有害物質の種類、埋設物の状態、場所、範囲、深さ、量及び時期等）に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

- ・災害（地震・洪水・高潮・火災・地すべり）により飛散・流出・地下浸透した履歴に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

- ・災害以外の事由により飛散・流出・地下浸透した履歴に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

③特定有害物質の使用等（製造・使用・処理）に関する情報の聴取り

- ・特定有害物質の使用等の状況（特定有害物質の種類及び特定有害物質の形態、使用等していた場所、量及び時期等）に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

- ・特定有害物質を使用等している又はしていた施設・配管の構造、深さに関する情報を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

- ・有害物質使用特定施設における地下浸透防止措置の実施・点検状況（流出・地下浸透事故の有無）に関する情報を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

- ・特定有害物質の使用等に伴う搬入・運搬・搬出経路に関する情報を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

④特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の貯蔵等に関する情報の聴取り

- ・特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の貯蔵等の状況（特定有害物質の種類、貯蔵形態、貯蔵等を行っていた場所、量及び時期等）に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

- ・特定有害物質に係る地中配管・地下構造物・地下貯蔵庫の存在を表す情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

- ・有害物質貯蔵指定施設における地下浸透防止措置の実施・点検状況（流出・地下浸透事故の有無）に関する情報を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

- ・特定有害物質の使用等に伴う搬入・運搬・搬出経路に関する情報を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

⑤その他の人為等由来の土壤汚染のおそれに関する情報の聴取り

- ・土壤汚染状況調査の対象地における上記①～④に該当しない人為等由来の土壤汚染のおそれに関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

4) 自然由来の土壤汚染のおそれに関する情報の聴取り

（自然由来の土壤汚染のおそれのある地層の存在が確認された場合）

- ・土壤汚染状況調査の対象地及び周辺の土地における自然由来の土壤汚染のおそれのある地層の分布状況に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

（自然由来の土壤汚染のおそれのある盛土の存在が確認された場合）

- ・盛土等に用いられた土壤の掘削場所に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

- ・ 土壌汚染状況調査の対象地における自然由来の土壌汚染のおそれのある盛土の分布状況に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

5) 水面埋立て土砂由来の土壌汚染のおそれに関する情報の聴取り

(公有水面埋立地に該当する場合)

- ・ 土壌汚染状況調査の対象地における水面埋立て土砂の範囲及び深さに関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

(水面埋立て土砂由来の土壌汚染のおそれが確認された場合)

- ・ 廃棄物の埋立ての有無及び状況に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*³ : _____

【様式 A-3】現地調査

※必要に応じて写真集等の資料を添付すること

【法第 3 条第 1 項本文調査又は法第 3 条第 8 項調査の場合】

工場又は事業場の名称	
操業期間	

※複数存在する場合は、複数記入すること

※土壤汚染のおそれの区分の分類を示した図面を添付するか、図面が土壤汚染状況調査の結果の報告書に含まれる場合は、その旨を記載すること

【法第 4 条調査又は法第 5 条調査の場合】

調査の対象となる土地の所在地	
----------------	--

※複数存在する場合は、複数記入すること

※土壤汚染状況調査の対象地に工場又は事業場の立地履歴がない場合には、「一」と記入すること

(1) 現地調査の実施

実施日時：_____

現地調査の実施者の氏名：_____

現地調査の案内者の氏名：_____

1) 土壤汚染状況調査の対象地の範囲を確定するための情報

土壤汚染状況調査の対象地の範囲を確定するための情報の現地調査

- ・土壤汚染状況調査の対象地の範囲を確定するための情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1：_____

2) 土地の用途及び地表の高さの変更、地質に関する情報

①土地の用途に関する情報の現地調査

- ・土地の用途に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1：_____

②地表の高さの変更に関する情報の現地調査

- ・地表の高さの変更に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1：_____

3) 人為等由来の土壤汚染のおそれに関する情報

①土壤の特定有害物質による汚染状態に関する情報の現地調査

- ・土壤又は地下水の特定有害物質による汚染状態に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1：_____

- ・土壤汚染の除去等の対策の実施状況に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*1：_____

*1 設問の情報について把握できなかった場合にその理由を記載する。

②特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の埋設等（埋設・飛散・流出・地下浸透）に関する情報の現地調査

- ・特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の埋設等の状況（特定有害物質の種類及び特定有害物質の形態、使用等していた場所、量及び時期等）に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹： _____

- ・災害（地震・洪水・高潮・火災・地すべり）により飛散・流出・地下浸透した履歴に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹： _____

- ・災害以外の事由により飛散・流出・地下浸透した履歴に関する情報を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹： _____

③特定有害物質の使用等（製造・使用・処理）に関する情報の現地調査

- ・特定有害物質の使用等の状況（特定有害物質の種類及び特定有害物質の形態、使用等していた場所、量及び時期等）に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹： _____

- ・特定有害物質を使用等している又はしていた施設・配管の構造、深さに関する情報を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹： _____

- ・有害物質使用特定施設における地下浸透防止措置の実施・点検状況（流出・地下浸透事故の有無）に関する情報を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹： _____

- ・特定有害物質の使用等に伴う搬入・運搬・搬出経路に関する情報を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹： _____

④特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の貯蔵等に関する情報の現地調査

- ・特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体の貯蔵等の状況（特定有害物質の種類、貯蔵形態、貯蔵等を行っていた場所、量及び時期等）に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹： _____

- ・特定有害物質に係る地中配管・地下構造物・地下貯蔵庫の存在を表す情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹： _____

- ・有害物質貯蔵指定施設における地下浸透防止措置の実施・点検状況（流出・地下浸透事故の有無）に関する情報を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹： _____

- ・特定有害物質の使用等に伴う搬入・運搬・搬出経路に関する情報を確認できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹ : _____

⑤その他の人為等由来の土壤汚染のおそれに関する情報の現地調査

- ・土壤汚染状況調査の対象地における上記①～④に該当しない人為等由来の土壤汚染のおそれに関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹ : _____

4) 自然由来の土壤汚染のおそれに関する情報の現地調査

(自然由来の土壤汚染のおそれのある地層の存在が確認された場合)

- ・土壤汚染状況調査の対象地及び周辺の土地における自然由来の土壤汚染のおそれのある地層の分布状況に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹ : _____

(自然由来の土壤汚染のおそれのある盛土の存在が確認された場合)

- ・盛土等に用いられた土壤の掘削場所に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹ : _____

- ・土壤汚染状況調査の対象地における自然由来の土壤汚染のおそれのある盛土の分布状況に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹ : _____

5) 水面埋立て土砂由来の土壤汚染のおそれに関する情報の現地調査

(公有水面埋立地に該当する場合)

- ・土壤汚染状況調査の対象地における水面埋立て土砂の範囲及び深さに関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹ : _____

(水面埋立て土砂由来の土壤汚染のおそれが確認された場合)

- ・廃棄物の埋立ての有無及び状況に関する情報を把握できた

☐ はい ☐ いいえ

いいえの場合、その理由*¹ : _____

【様式A-4】過去に行われた調査の結果が得られた場合のチェック項目

※様式A-4は、地歴調査における情報の入手・把握の中で、土壤汚染状況調査の対象地において過去に行われた調査の結果を入手した場合に作成すること

※Appendix「27. 土壤汚染状況調査の対象地の土壤汚染のおそれの把握等（地歴調査）における過去の調査結果の利用」を参考にする

※過去に行われた土壤汚染状況調査又は土壤汚染調査の結果が複数ある場合には、個別調査ごとに作成すること

(1) 過去に行われた調査の種類が

- ・法に基づく土壤汚染状況調査結果である*¹ ⇒ (2)へ進む

*¹ 過去に法に基づく土壤汚染状況調査とみなされた土壤汚染調査の結果を含む。

- ・条例に基づく調査結果である*² ⇒ (3)へ進む

*² 都道府県知事により平成29年改正法全面施行後の法に基づく土壤汚染状況調査と同等の取扱いが可能とされたときは(2)へ進む。

- ・自主調査結果である*³ ⇒ (3)へ進む

*³ 過去の土壤汚染状況調査において土壤汚染状況調査の結果とみなされた制定法施行前の土壤汚染調査結果は、当該土壤汚染状況調査の結果とみなされた時期の土壤汚染状況調査と同様に取り扱う。

(2) 過去に行われた土壤汚染状況調査の結果

1) 過去に行われた土壤汚染状況調査が実施された時期

- ・制定法施行後かつ平成21年改正法施行前に行われた土壤汚染状況調査の結果である

☐ はい ☐ いいえ

- ・平成21年改正法施行後かつ平成29年改正法全面施行前に行われた土壤汚染状況調査の結果である

☐ はい ☐ いいえ

- ・平成29年改正法全面施行後に行われた土壤汚染状況調査の結果である

☐ はい ☐ いいえ

2) 過去に行われた土壤汚染状況調査の内容及び調査結果

①当該調査の契機を確認した

☐ はい ☐ いいえ

②地歴調査の対象物質を確認した

☐ はい ☐ いいえ

③地歴調査の対象とされた汚染原因及び期間を確認した

☐ はい ☐ いいえ

④地歴調査結果、土壤汚染のおそれありと判断された特定有害物質の種類を確認した

☐ はい ☐ いいえ

⑤試料採取等対象物質として選定した特定有害物質の種類を確認した

☐ はい ☐ いいえ

⑥試料採取等の対象としないこととした特定有害物質（試料採取等対象物質）、単位区画及び土壤を確認した

☐ はい ☐ いいえ

様式A-4 過去に行われた調査の結果が得られた場合のチェック項目

- ⑦基準不適合とみなされた特定有害物質の種類及び項目（土壌溶出量、土壌含有量）を確認した

☐ はい ☐ いいえ

- ⑧過去に土壌汚染状況調査が行われた時点において既に土壌汚染のおそれが生じていたが、当該過去の土壌汚染状況調査では把握されていなかった土壌汚染のおそれを確認した

☐ はい ☐ いいえ

- 3) 過去に行われた土壌汚染状況調査が実施された時期における特定有害物質及び汚染状態にかかる基準

- ・過去に土壌汚染状況調査が行われた時期における特定有害物質及び汚染状態に係る基準を確認し、現在までに行われた見直しの内容を確認した

☐ はい ☐ いいえ

- (3) 過去に行われた土壌汚染調査の結果が実施された時期が

- ・制定法施行前に行われた土壌汚染調査の結果である（過去の土壌汚染状況調査において当該土壌汚染状況調査の結果とみなされたものを除く） ⇒ (3)-1 へ進む

- ・制定法施行後に行われた土壌汚染調査の結果である ⇒ (3)-2 へ進む

- (3)-1 制定法施行前に行われた土壌汚染調査の結果

- 1) 新たに行う土壌汚染状況調査の結果とみなそうとする場合の過去の土壌汚染調査

- ①当該調査が指定調査機関により、公正に行われていることを確認した

☐ はい ☐ いいえ

- ②当該調査が平成 29 年改正法全面施行後の法に基づく土壌汚染状況調査と同等程度の精度を保って行われているかどうかを確認した

☐ はい ☐ いいえ

- 2) 新たに行う土壌汚染状況調査の結果とみなそうとしない場合の過去の土壌汚染調査

- ①当該調査が指定調査機関により、公正に行われていることを確認した

☐ はい ☐ いいえ

- ②当該調査が平成 29 年改正法全面施行後の法に基づく土壌汚染状況調査の方法に則り行われたと認められる試料採取等の結果に該当する測定結果を確認した

☐ はい ☐ いいえ

- 3) 過去に行われた土壌汚染調査が行われた時期における特定有害物質及び汚染状態に係る基準

- ・過去に土壌汚染調査が行われた時期における特定有害物質及び汚染状態に係る基準を確認し、現在までに行われた見直しの内容を確認した

☐ はい ☐ いいえ

- (3)-2 制定法施行後に行われた土壌汚染調査結果に基づく汚染のおそれの把握

- 1) 新たに行う土壌汚染状況調査の結果とみなそうとする場合の過去の土壌汚染調査

- ①当該調査が指定調査機関により、公正に行われていることを確認した

☐ はい ☐ いいえ

- ②当該調査が平成 29 年改正法全面施行後の法に基づく土壌汚染状況調査の方法に則り行われたと認められる試料採取等の結果に該当する測定結果を確認した

☐ はい ☐ いいえ

2) 過去に行われた土壌汚染調査が行われた時期における特定有害物質及び汚染状態に係る基準

①過去に土壌汚染調査が行われた時期における特定有害物質及び汚染状態に係る基準を確認し、現在までに行われた見直しの内容を確認した

☐ はい ☐ いいえ

②上記①の現在までに行われた特定有害物質及び汚染状態に関する基準の見直しを反映し、過去に行われた土壌汚染調査の結果の内容を確認した

☐ はい ☐ いいえ

(4) 過去に土壌汚染状況調査又は土壌汚染調査が行われた後の土壌の汚染状態の変化

①過去に土壌汚染状況調査又は土壌汚染調査が行われた後の汚染の除去等の措置又は土壌汚染対策の実施に伴う土壌の汚染状態の変化の状況を確認した

☐ はい ☐ いいえ

②過去に土壌汚染状況調査又は土壌汚染調査が行われた後の土地の形質の変更に伴う土壌の汚染状態の変化の状況を確認した

☐ はい ☐ いいえ

③過去に汚染の除去等の措置又は土地の形質の変更に於ける認定土壌又は浄化等済土壌による埋め戻しの状況を確認した

☐ はい ☐ いいえ

(認定土壌又は浄化等済土壌による埋め戻しの履歴が確認された場合)

④過去に認定土壌又は浄化等済土壌による埋め戻しが行われた時期における特定有害物質及び汚染状態に係る基準を確認し、現在までに行われた見直しの内容を確認した

☐ はい ☐ いいえ

⑤上記④の現在までに行われた見直しの内容を踏まえ、見直しに対する施行日前認定済土壌及び施行日前浄化等済土壌の取扱いを確認した

☐ はい ☐ いいえ

土壤汚染状況調査の対象地において人為等由来の土壤汚染のおそれがある特定有害物質の種類

【様式A-5】土壤汚染状況調査の対象地において人為等由来の土壤汚染のおそれがある特定有害物質の種類

※様式A-5は、立地履歴が認められた工場又は事業場ごとに作成すること

※自然由来又は水面埋立て土砂由来の土壤汚染のおそれがある特定有害物質の種類については様式A-6に記載すること

【法第3条第1項本文調査又は法第3条第8項調査の場合】

工場又は事業場の名称	
------------	--

※複数存在する場合は、複数記入すること

※土壤汚染のおそれの区分の分類を示した図面を添付するか、図面が土壤汚染状況調査の結果の報告書に含まれる場合は、その旨を記載すること

【法第4条調査又は法第5条調査の場合】

調査の対象となる土地の所在地	
----------------	--

※複数存在する場合は、複数記入すること

※土壤汚染状況調査の対象地に工場又は事業場の立地履歴がない場合には、「一」と記入すること

※土壤汚染のおそれの区分の分類を示した図面を添付するか、図面が土壤汚染状況調査の結果の報告書に含まれる場合は、その旨を記載すること

土壤汚染状況調査の対象地において人為等由来の土壤汚染のおそれがある特定有害物質の種類

表 A-5 土壤汚染状況調査の対象地において土壤汚染のおそれがある特定有害物質の種類

分類	特定有害物質の種類	選定* ¹	理由* ²	備考
第一種 特定有害物質	クロロエチレン			
	四塩化炭素			
	1,2-ジクロロエタン			
	1,1-ジクロロエチレン			
	1,2-ジクロロエチレン			
	1,3-ジクロロプロペン			
	ジクロロメタン			
	テトラクロロエチレン			
	1,1,1-トリクロロエタン			
	1,1,2-トリクロロエタン			
	トリクロロエチレン			
	ベンゼン			
第二種 特定有害物質	カドミウム及びその化合物			
	六価クロム化合物			
	シアン化合物			
	水銀及びその化合物			
	セレン及びその化合物			
	鉛及びその化合物			
	砒素及びその化合物			
	ふっ素及びその化合物			
	ほう素及びその化合物			
第三種 特定有害物質	シマジン			
	チオベンカルブ			
	チウラム			
	ポリ塩化ビフェニル（PCB）			
	有機りん化合物			

*1 選定の欄には、土壤汚染状況調査の対象地において土壤溶出量基準又は土壤含有量基準に適合していないおそれのある特定有害物質の種類に「○」を記入する。

*2 理由の欄の記入方法は“「理由」の欄の記入要領”（11 ページ）による。

【様式A－6】土壌汚染状況調査の対象地において自然由来又は水面埋立て土砂由来の土壌汚染のおそれがある特定有害物質の種類

※様式A－6は、自然由来又は水面埋立て土砂由来の土壌汚染のおそれが認められる場合について作成すること

【法第3条第1項本文調査又は法第3条第8項調査の場合】

工場又は事業場の名称	
------------	--

※複数存在する場合は、複数記入すること

※土壌汚染のおそれの区分の分類を示した図面を添付するか、図面が土壌汚染状況調査の結果の報告書に含まれる場合は、その旨を記載すること

【法第4条調査又は法第5条調査の場合】

調査の対象となる土地の所在地	
----------------	--

※複数存在する場合は、複数記入すること

※土壌汚染状況調査の対象地に工場又は事業場の立地履歴がない場合には、「―」と記入すること

※土壌汚染のおそれの区分の分類を示した図面を添付するか、図面が土壌汚染状況調査の結果の報告書に含まれる場合は、その旨を記載すること

土壌汚染状況調査の対象地において自然由来又は水面埋立て土砂由来の土壌汚染のおそれがある特定有害物質の種類

表 A-6 土壌汚染状況調査の対象地において自然由来又は水面埋立て土砂由来の土壌汚染のおそれがある特定有害物質の種類

分類	特定有害物質の種類	選定* ¹	理由* ²			備考
			自然由来		水面埋立て 土砂由来	
			自然地層	盛土		
第一種 特定有害物質	クロロエチレン					
	四塩化炭素					
	1, 2-ジクロロエタン					
	1, 1-ジクロロエチレン					
	1, 2-ジクロロエチレン					
	1, 3-ジクロロプロペン					
	ジクロロメタン					
	テトラクロロエチレン					
	1, 1, 1-トリクロロエタン					
	1, 1, 2-トリクロロエタン					
	トリクロロエチレン					
	ベンゼン					
第二種 特定有害物質	カドミウム及びその化合物					
	六価クロム化合物					
	シアン化合物					
	水銀及びその化合物					
	セレン及びその化合物					
	鉛及びその化合物					
	砒素及びその化合物					
	ふっ素及びその化合物					
	ほう素及びその化合物					
第三種 特定有害物質	シマジン					
	チオベンカルブ					
	チウラム					
	ポリ塩化ビフェニル（P C B）					
	有機りん化合物					

*1 選定の欄には、土壌汚染状況調査の対象地において土壌溶出量基準又は土壌含有量基準に適合していないおそれのある特定有害物質の種類に「○」を記入する。

*2 理由の欄に記入する凡例は「理由」の欄の記入要領（11 ページ）による。

【様式A-7】土壤汚染状況調査の対象地が公有水面埋立地に立地する場合のチェック項目

※様式A-7は、土壤汚染状況調査の対象地が公有水面埋立地である場合に作成すること

(1) 土壤汚染状況調査の対象地が公有水面埋立法の埋立地であることを示す情報

①土壤汚染状況調査の対象地が公有水面埋立法であることの根拠を確認した

- ☐ 公有水面埋立法の届出書類 書類の名称等：_____
- ☐ 土地の登記事項証明書
- ☐ その他 資料の名称等：_____

②土壤汚染状況調査の対象地における水面埋立て土砂の範囲及び深さを確認した

- ☐ はい ☐ いいえ

はいの場合、確認の方法：_____

いいえの場合、その理由*1：_____

(2) 水面埋立て土砂由来の土壤の汚染状態に関する情報

①土壤汚染状況調査の対象地について、公有水面埋立地の造成時に用いられた土砂が特定有害物質について基準不適合であったことを示す調査結果を確認した

- ☐ はい ☐ いいえ

はいの場合、確認の方法：_____

いいえの場合、その理由*1：_____

②土壤汚染状況調査の対象地の周辺の土地について、公有水面埋立地の造成に用いられた土砂が特定有害物質について基準不適合であったことを示す調査結果を確認した

- ☐ はい ☐ いいえ

はいの場合、確認の方法：_____

いいえの場合、その理由*1：_____

(上記②に該当することが確認された場合)

③基準不適合が確認された土壤汚染状況調査の対象地の周辺の土地と土壤汚染状況調査の対象地が同じ水面埋立て土砂で造成されたと推定し得る情報を確認した

- ☐ はい ☐ いいえ

はいの場合、確認の方法：_____

いいえの場合、その理由*1：_____

(3) 埋立地の造成が開始された年月日を確認する情報

①公有水面の埋立て又は干拓の事業による造成が確認された年月日を示す情報を確認した

- ☐ 昭和52年3月14日以前 ☐ 昭和52年3月15日以降

②土壤汚染状況調査の対象地を含む埋立地の公有水面の埋立て又は干拓の事業による造成が開始された時期の根拠

- ☐ 公有水面埋立法の届出書類 書類の名称等：_____
- ☐ 空中写真 空中写真が撮影された年月日：_____
- ☐ その他 資料の名称等：_____

*1 設問の情報について確認していない場合にその理由を記載する。

様式A-7 土壌汚染状況調査の対象地が公有水面埋立地に立地する場合のチェック項目

(水面埋立て土砂由来汚染調査の結果に基づき、基準不適合とみなされた土地の埋立地特例区域への該当性の判断の根拠となる理由を都道府県知事に示す場合に必要となる情報)

(4) 廃棄物が埋め立てられている場所ではないことを確認する情報

①廃棄物処理法*²に基づく最終処分場でないことを確認した

☐ はい ☐ いいえ

はいの場合、確認の方法：_____

いいえの場合、その理由*¹：_____

②廃棄物処理法*²の指定区域でないことを確認した

☐ はい ☐ いいえ

はいの場合、確認の方法：_____

いいえの場合、その理由*¹：_____

(昭和52年3月14日以前に造成が開始された公有水面埋立地の場合)

③ボーリング柱状図等の資料(水面埋立て土砂由来汚染調査と同じ密度で調査された結果の記録)により廃棄物が埋め立てられていないことを確認した

☐ はい ☐ いいえ

はいの場合、確認の方法：_____

いいえの場合、その理由*¹：_____

(昭和52年3月15日以降に造成が開始された公有水面埋立地について、埋立地特例区域への該当性の判断の根拠となる理由を都道府県知事に示す場合に必要となる情報)

(5) 第一種特定有害物質、第三種特定有害物質及びシアン化合物による汚染状態が土壌溶出量基準及び土壌含有量基準に適合する土地であることを示す情報

・第一種特定有害物質、第三種特定有害物質及びシアン化合物による汚染状態が土壌溶出量基準及び土壌含有量基準に適合する土地であることを示す情報を確認した

☐ はい ☐ いいえ

はいの場合、確認の方法：_____

いいえの場合、その理由*¹：_____

(埋立地管理区域への該当性の判断の根拠となる理由を都道府県知事に示す場合に必要となる情報)

(6) 工業専用地域(都市計画法第8条第1項第1号)に該当する土地であることを示す情報

・工業専用地域(都市計画法第8条第1項第1号)に該当する土地であることを示す情報を確認した

☐ はい ☐ いいえ

はいの場合、確認の方法：_____

いいえの場合、その理由*¹：_____

*2 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(昭和45年法律第137号)

【様式B】試料採取等対象物質の選定

工場又は事業場の名称	
------------	--

※使用が廃止された有害物質使用特定施設に係る工場又は事業場

1. 規則第3条第3項の都道府県知事からの通知

- ・規則第3条第3項の通知を都道府県知事に申請した

☐ はい

☐ いいえ

(「いいえ」の場合、以下のチェック不要)

- ・都道府県知事より、調査実施者が地歴調査において把握していなかった特定有害物質の種類について、土壤汚染状況調査の対象地において土壤溶出量基準又は土壤含有量基準に適合していないおそれがあると通知された

☐ はい

☐ いいえ

※「はい」の場合、情報の入手・把握において収集した情報の内容の見直し及び追加調査を実施すること。また、収集した情報の内容の見直し及び追加調査に関して、再度、様式A-1～様式A-4を作成し、本様式の後ろに添付すること

2. 試料採取等対象物質の選定

表B-1 選定した試料採取等対象物質（法第3条第1項本文調査・法第3条第8項調査）

分類	特定有害物質の種類	試料採取等対象物質 *1	土壌溶出量基準又は土壌含有量基準に適合していないおそれのある特定有害物質の種類		
			調査実施者が情報の入手・把握によって把握したもの		都道府県知事から通知されたもの ☐ 申請した ☐ 申請していない
			選定*2	理由*3	選定*2
第一種特定有害物質	クロロエチレン				
	四塩化炭素				
	1,2-ジクロロエタン				
	1,1-ジクロロエチレン				
	1,2-ジクロロエチレン				
	1,3-ジクロロプロペン				
	ジクロロメタン				
	テトラクロロエチレン				
	1,1,1-トリクロロエタン				
	1,1,2-トリクロロエタン				
	トリクロロエチレン				
	ベンゼン				
第二種特定有害物質	カドミウム及びその化合物				
	六価クロム化合物				
	シアン化合物				
	水銀及びその化合物				
	セレン及びその化合物				
	鉛及びその化合物				
	砒素及びその化合物				
	ふっ素及びその化合物				
	ほう素及びその化合物				
第三種特定有害物質	シマジン				
	チオベンカルブ				
	チウラム				
	ポリ塩化ビフェニル（PCB）				
	有機りん化合物				

*1 試料採取等対象物質の欄には、試料採取等対象物質とした特定有害物質の種類に「●」を記入する。

*2 選定の欄には、土壌汚染状況調査の対象地において土壌溶出量基準又は土壌含有量基準に適合していないおそれのある特定有害物質の種類に「○」を記入する。

*3 理由の欄の記入方法は“「理由」の欄の記入要領”（11 ページ）による。

表B-2 人為等由来の土壤汚染のおそれが認められる試料採取等対象物質
(法第4条調査・法第5条調査)

分類	特定有害物質の種類	試料採取等対象物質 *1	命令に係る特定有害物質の種類	土壤汚染のおそれがある特定有害物質の種類 (地歴調査による追加分)	
			選定*2	選定*2	理由*3
第一種特定有害物質	クロロエチレン				
	四塩化炭素				
	1,2-ジクロロエタン				
	1,1-ジクロロエチレン				
	1,2-ジクロロエチレン				
	1,3-ジクロロプロペン				
	ジクロロメタン				
	テトラクロロエチレン				
	1,1,1-トリクロロエタン				
	1,1,2-トリクロロエタン				
	トリクロロエチレン				
	ベンゼン				
第二種特定有害物質	カドミウム及びその化合物				
	六価クロム化合物				
	シアン化合物				
	水銀及びその化合物				
	セレン及びその化合物				
	鉛及びその化合物				
	砒素及びその化合物				
	ふっ素及びその化合物				
	ほう素及びその化合物				
第三種特定有害物質	シマジン				
	チオベンカルブ				
	チウラム				
	ポリ塩化ビフェニル (PCB)				
	有機りん化合物				

*1 試料採取等対象物質の欄には、試料採取等対象物質とした特定有害物質の種類に「○」を記入する。

*2 選定の欄には、土壤汚染状況調査の対象地において土壤溶出量基準又は土壤含有量基準に適合していないおそれのある特定有害物質の種類に「○」を記入する。

*3 理由の欄の記入方法は“「理由」の欄の記入要領”(11 ページ)による。

表B-3 自然由来又は水面埋立て土砂由来の土壤汚染のおそれが認められる試料採取等対象物質（法第4条調査・法第5条調査）

※表B-3は、自然由来又は水面埋立て土砂由来の土壤汚染のおそれが認められた場合について作成すること

分類	特定有害物質の種類	試料採取等対象物質 * 1	理由* 2		水面埋立て 土砂由来	備考* 3
			自然由来			
			自然地層	盛土		
第一種特定有害物質	四塩化炭素					
	1, 2-ジクロロエタン					
	1, 1-ジクロロエチレン					
	1, 2-ジクロロエチレン					
	1, 3-ジクロロプロペン					
	ジクロロメタン					
	テトラクロロエチレン					
	1, 1, 1-トリクロロエタン					
	1, 1, 2-トリクロロエタン					
	トリクロロエチレン					
	ベンゼン					
第二種特定有害物質	カドミウム及びその化合物					
	六価クロム化合物					
	シアン化合物					
	水銀及びその化合物					
	セレン及びその化合物					
	鉛及びその化合物					
	砒素及びその化合物					
	ふっ素及びその化合物					
	ほう素及びその化合物					
第三種特定有害物質	シマジン					
	チオベンカルブ					
	チウラム					
	ポリ塩化ビフェニル（P C B）					
	有機りん化合物					

*1 選定の欄には、土壤汚染状況調査の対象地において土壤溶出量基準又は土壤含有量基準に適合していないおそれのある特定有害物質の種類に「○」を記入する。

*2 理由の欄に記入する凡例は“「理由」の欄の記入要領”（11ページ）による。

*3 調査実施者が地歴調査によって試料採取等対象物質に追加した特定有害物質の種類については備考の欄に「追加」と記載する。

様式C 人為等由来の土壤汚染のおそれがある土地における土壤汚染のおそれの区分の分類

【様式C】人為等由来の土壤汚染のおそれがある土地における土壤汚染のおそれの区分の分類

【法第3条第1項本文調査又は法第3条第8項調査の場合】

工場又は事業場の名称	
------------	--

※複数存在する場合は、複数記入すること

※土壤汚染のおそれの区分の分類を示した図面を添付するか、図面が土壤汚染状況調査の結果の報告書に含まれる場合は、その旨を記載すること

【法第4条調査又は法第5条調査の場合】

調査の対象となる土地の所在地	
----------------	--

※複数存在する場合は、複数記入すること

※土壤汚染状況調査の対象地に工場又は事業場の立地履歴がない場合には、「―」と記入すること

※土壤汚染のおそれの区分の分類を示した図面を添付するか、図面が土壤汚染状況調査の結果の報告書に含まれる場合は、その旨を記載すること

- ① 土壤汚染のおそれの区分の分類に過去から現在までの施設の種類、用途、構造、配置、当該施設からの配管の位置等を反映している

☐ はい ☐ いいえ

- ② 土壤汚染のおそれの区分の分類に汚染のおそれの生じた場所の位置を反映している

☐ はい ☐ いいえ

(土壤汚染状況調査の対象地に複数の工場又は事業場の立地履歴が認められる場合)

- ・立地履歴が認められた工場又は事業場ごとに土壤汚染のおそれの区分の分類を実施している

☐ はい ☐ いいえ

- ③ 下記の土壤汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地に関する基準を踏まえ、土壤汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地、土壤汚染が存在するおそれが少ないと認められる土地、土壤汚染が存在するおそれがないと認められる土地の区分の分類を行った

☐ はい ☐ いいえ

【土壤汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地に関する基準を判断する上で確認すべき事項】

- ・土壤溶出量基準又は土壤含有量基準に適合しないことが明らかな土地を含んでいる
- ・現在又は過去に特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体を埋設・飛散・流出・地下浸透した土地を含んでいる
- ・現在又は過去に特定有害物質を製造・使用・処理する施設の敷地であった土地を含んでいる
- ・現在又は過去に特定有害物質又は特定有害物質を含む固体・液体を貯蔵・保管する施設^{*1}の敷地であった土地を含んでいる
- ・その他、土壤溶出量基準又は土壤含有量基準に適合しないおそれがある土地を含んでいる
- ・自然由来で汚染された地層の土壤を盛土等の材料に用いたことによって盛土等部分の土壤が土壤溶出量基準又は土壤含有量基準に適合しないおそれがある土地の場合であ

*1 環境大臣が定める地下浸透防止措置が講じられている施設を除く。

様式C 人為等由来の土壤汚染のおそれがある土地における土壤汚染のおそれの区分の分類

って、当該盛土等が自然由来盛土等の要件に該当しない（人為等由来の土壤汚染のおそれのある盛土）